

善意の窓

8月15日現在

市の社会福祉事業、善意銀行、教育事業などに、次の方々からご寄付がありました。(敬称略)

ありがとうございました

- 滑川蒲鉾株式会社
- 取締役社長 本吉 重和
- 高橋すみ子 (小林)
- 中村 潤子 (常盤町)
- 勝山 賢一 (辰野)
- 斉藤恵美子 (高柳)
- 鏡田 敦子 (吾妻町)
- 上田 芳幸 (吾妻町)
- 元起 碩人 (杉本)
- 網谷 正裕 (高月町)
- 笠間 等 (橋場町)
- (故) 畑中 錢子 (本江)
- 米田 嘩子 (法花寺)
- 野吾 明義 (清水町)
- (故) 熊野 隆 (中野)
- 加島町リサイクル推進会



町内対抗野球大会 (8月14日)

人口と世帯 17.8.1現在

人口	34,249	(前月比 +12)
男	16,558	(前月比 +9)
女	17,691	(前月比 +3)
世帯数	10,995	(前月比 +1)

7月中の異動

転入	64	出生	30
転出	57	死亡	25

滑川市内の交通事故状況

	今年 (8/17現在)	昨年同期
事故件数	115件	142件
死者	0人	2人
負傷者	140人	174人

女性消防団員入団式 (7月31日)

市の消防ボランティアとして、また地域の火災予防の推進役として活動する初の女性消防団員の入団式が市消防本部で行われました。団員は一人暮らしの高齢者宅などを訪問し、防火の相談や指導に当たり、また火災予防運動中や警戒時の広報活動に当たります。



「タウンオアシス構想打ち水大作戦」(7月30日)

地球温暖化など環境への意識を高めてもらうため、「タウンオアシス構想打ち水大作戦」が、東地区20町内会の約1,000世帯に呼びかけて行われました。

昔ながらの打ち水を見直そうと、河川水や井戸水を自宅前道路にまきました。その後、融雪装置による散水も行われました。



若田宇宙飛行士講演会 (8月21日)

宇宙飛行士の若田光一さんを招いた講演会が、滑川・早月の両中学校の生徒が参加して滑川市民会館で開かれました。

講演会では、スペースシャトルの船内や打ち上げ時の映像やスライドを使いながら体験を話され、第2部では中学生からの質問に答えられました。



ネブタ流しと茅の輪くぐり (7月31日)

国の重要無形民俗文化財に指定されている「ネブタ流し」が和田の浜で行われ、大たいまつ10基が海に送り出されました。

ネブタ流しは、労働の意欲を妨げる眠気や病気、けがれを大たいまつに託し、海に流して無病息災を願って行われます。地元の中川原や常盤町1・2・3区、吾妻町の各町内や寺家小の児童たちによってつくられた大たいまつは、点火後に海に押し流され、夕日が沈みかけ次第に暗くなるなか、赤々と燃え上がる炎を海面に映し出しました。



樺原神社の伝統行事、「茅の輪くぐり」が同神社と中川原地内のみそぎ場で行われました。

ネブタ流しと同じ意味合いがあり、子どもたちから順に大人たちも無病息災を願い、茅の輪をくぐりました。

市民ソフトボール大会 (8月21日)

お互いの親睦を図り、健康の維持増進を目指して「市民ソフトボール大会」が西部小学校グラウンドで開かれました。

東地区や西地区など各地区から男性9チームと女性2チームが参加し、元気よくプレーし、爽やかな汗を流しました。優勝は、男性が浜加積地区と北加積地区(決勝戦は降雨のため中止)、女性が浜加積地区でした。



滑川薪能 (8月5日)

夏の夕暮れに、幽玄の世界へ誘う「滑川薪能」が、滑川駅前中央公園で開かれました。

素謡(すうたい)、独吟、連吟、仕舞(しまい)が演じられた後、火入れの儀で火を焚き、重要無形文化財保持者で宝生流能楽師の大坪喜美雄師範が舞囃子を披露され、狂言、能と舞台が繰り広げられました。

